



議会だより

せとうち

2023

3.1

特別号 議会報告

あの事業は今!?

効果は? 今後は?



総務文教委員会

どうなる**庁舎再編**…P2~3

市民に届け**防災情報**…P4

どうなる**地域公共交通**…P5

ゼロカーボン推進事業について…P6

新火葬場 開始までもう2年…P7

目指せ**待機児童ゼロ**…P8



環境福祉委員会

鳥獣被害にさらなる対策を…P9

どこまで進んだ**JR駅前整備**…P10~11

文化振興について…P12



産業建設水道委員会

庁舎再編計画の経緯

平成30年3月	庁舎再編計画基本構想を策定 基本構想の短期構想では、長船町の3施設（長船支所、長船町公民館、長船分駐所）の耐震化を急ぐこととした また、中長期構想では、本庁舎、分庁舎の統合を進めることとした
平成30年8月	長船町地域住民説明会を開催
平成31年3月	長船支所及び周辺施設整備基本計画及び基本設計を策定し、長船支所機能を含む保健福祉部仮庁舎新築の基本設計、ゆめトピア長船改修の基本設計、消防署（長船分駐所）新築の基本設計を実施
令和元年5月	本庁舎南側駐車場が完成
令和2年3月	本庁舎西棟を改修し保健福祉部を移設する案を比較検討する予算を議決
令和2年7月	保健福祉部仮庁舎新築案を撤回し、本庁舎西棟改修案を選択とした保健福祉部移転先比較検討他基本設計を策定
令和2年11月	福祉部等の本庁舎西棟への移転、本庁舎北側のJA岡山用地購入案を提示、長船支所周辺整備について住民説明会を開催
令和3年12月	本庁舎西棟改修工事、長船支所新築工事、JA岡山用地取得予算を議決
令和5年5月	長船支所新築工事、本庁舎西棟改修工事は、令和4年度中に完成し、令和5年5月に開所の予定

- 改修面積は約600㎡で、執務室等を整備
- 相談室、相談カウンター、キッズコーナー、授乳室、多目的トイレを整備



完成間近の本庁舎西棟

本庁舎西棟は、令和4年度中に改修工事が完了予定で、令和5年5月にゆめトピア長船・長船支所にある、福祉部、こども・健康部が移転の予定。

本庁舎西棟



取得するJA岡山用地

JA岡山用地には、将来約70億円の統合庁舎を新築する構想案もある。

市役所北側のJA岡山用地を購入し、本庁舎西棟にあった公用車の駐車場にする。建物部分の一部は公文書の書庫等としての利用を予定している。

JA岡山用地取得

今後、ゆめトピア長船の改修、こどもパークの整備、公民館跡地の活用など残された事業はあるが、庁舎再編の大筋の方向性は定まった。


平成30年から約5年間、主にハード面の提案に対して、議会は論戦の場となったが、今後とも、利便性の向上や質の確保というソフト面から十分に議論していく。

この先に向けて

- ① 邑久郡の合併協議会の記録に、牛窓支所に教育委員会、長船支所に保健福祉部を置く分庁方式を採用していること
- ② ゆめトピアは、特にコロナワクチンの接種会場となるなど保健福祉機能を持つ重要な施設であること
- ③ 多大な費用を伴うことなどだったが、賛成多数で可決した。

議会は

計画方針や関連する予算案等が提出されるたびに、白熱した。その都度反対意見も出された。主な反対意見は、




2月4日に、3年ぶりとなる議会報告会の開催を準備してきました。しかしながら、第8波の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、議会報告会を中止する苦渋の決断をしました。

つきましては、報告会に向けて準備した内容をお届けしたいと思い、議会だより特別号を発行しました。

本来なら会場で、皆さまのご意見をいただくことになっておりましたが、かないませんでした。この特別号を読んでのご意見・ご感想をぜひお寄せ下さい。

瀬戸内市議会議長 廣田 均

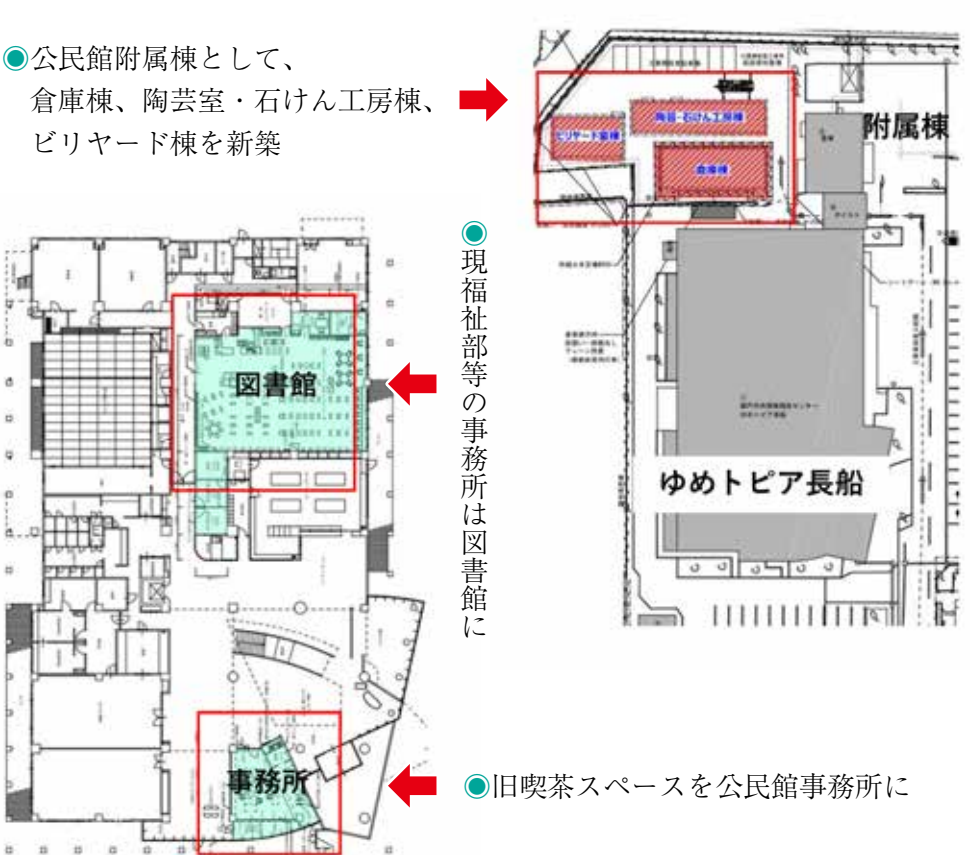


長船支所は、令和4年度に現長船支所の東側に新築し、令和5年5月に開所予定。

施設ごとの今後は

- キッズコーナー、授乳室、多目的トイレを整備

公民館附属棟として、倉庫棟、陶芸室・石けん工房棟、ビリヤード棟を新築



現福祉部等の事務所は図書館に

旧喫茶スペースを公民館事務所に

長船町公民館

長船町公民館は、令和5年度にゆめトピア長船の内部を改修した

後、令和6年度に公民館機能を移転する。現在の建物は解体撤去の予定。長船町公民館の跡地の活用策は未定。

どうなる庁舎再編

市民に届け防災情報

近年、地震・大雨・台風による災害が全国各地で発生している。市民の命を守るためには、災害時の情報を迅速かつ正確に伝えることが必要である。

議会は、市民からの屋外放送が聞こえづらいとの声を取り上げ、改善を求めてきた。

令和3年度、市は従来の防災行政無線システムを「いつでもどこでも・誰でも」情報が得られるよう『防災情報伝達システム』として更新した。

議会はシステムが計画通りの機能を発揮するよう進捗の確認を行い、普及の推進を求めてきた。



高性能スピーカー

どう変わる情報伝達

屋外スピーカー設置

従来の屋外スピーカーの情報が聞き取りにくい課題を解決するため、ホーン型から高性能スピーカーに変更し、設置力所数も60局を67局に増設した。



更新後も、「聞こえづらい」などの市民の声を市に伝えることで、市は現地を調査し、音量の調整やスピーカーの向きなどを改善している。



防災アプリ

防災アプリの導入

屋外放送の内容を個人が所有するスマートフォンで情報を受信でき、市内にいない時や、聞き逃した時でも、音声・文字で確認できるようにになった。



幅広い普及活動を求めた。広報紙・ホームページでのPRだけでなく、児童生徒へのチラシの配布・イベントなどを利用したPR活動・地域に向いてのインストール支援などを提案した。現在約4千件がインストールされている。

戸別受信装置

大雨・台風時、屋外放送が聞こえにくいことを考慮し、屋内にいても確認ができるよう、戸別受信装置を導入した。



戸別受信装置

さらなる改善を

戸別受信装置貸与数とアプリ登録数を合わせても、5千件に満たない。世帯数約1万6千世帯に比較すると普及が十分といえない。議会として、今後も災害時に役に立つシステムになるよう改善を求めている。

どうなる地域公共交通

市全体の公共交通のマスタープランとなる「瀬戸内市地域公共交通計画」を、瀬戸内市地域公共交通会議と連携して令和3年3月に策定し、その計画ののっとり順次取り組みを行っている。



以下の要望や意見を求めてきた。

- 運行便数の維持・増便
- 邑久駅西大寺間のバス路線の存続
- 運賃の引き下げ
- 停留所の改善
- 運行ルートの改善



市営バス停留所



公共交通網の将来像

(令和3年策定 瀬戸内市地域公共交通計画より抜粋)

民間2路線を市営に

昨年の3月末に虫明・長島愛生園線、9月末に北回り牛窓線の民間路線が撤退となった。長島愛生園線と北回り牛窓線の牛窓・邑久駅間については、市営バスとして引き継ぎ運行している。



現在の公共交通のあり方が最善とは捉えておらず、市営バスのルートやJR赤穂線との連携等、様々な課題を認識し、改善を求めている。

運賃引き下げ

市営バスは既存の市営バス6路線に、民間路線を引き継いだ2路線が加わり、8路線となった。全路線を片道100円へと運賃改定を行い、市民の利用負担を抑えた料金設定で、便利で「使える」公共交通の構築へ進んだといえる。

交通不便地域対策

居住地がバスの停留所等から400m以上離れているところなどを、交通不便地域と位置付け、タクシーチケットを交付する事業も行っている。この事業も、より効果的に進めるよう求めていきたい。



市営バス

さらなる改善へ

コロナ禍において、JR赤穂線の減便や駅舎の無人化等、市民を取り巻く環境が厳しくなっている。今後も市民の意見等が反映され、よりよい移動手段が確保できるように、公共交通の整備について議論を進めていきたい。

区分	令和4年 9月末まで	令和4年 10月から
	● 料金改定	
一般	1日当たり 200円	1乗車 100円
身体障害者手帳、療育手帳、 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	1日当たり 100円	
付き添い者	1日当たり 100円	
おかやま愛カードをお持ちの方	1日当たり 100円	
中学生以下	無料	無料
回数券	あり	あり
フリー乗車定期券	—	新設
1日乗り放題券	あり	—

鳥獣被害にさらなる対策を

これまでの対策

鳥獣被害の対策としては、環境整備、侵入防止、捕獲を総合的に行うことが大切である。

平成28年4月には、瀬戸内市にだけなかった鳥獣被害対策協議会を立ち上げることができ、平成29年には、市役所に有害鳥獣対策室が設けられた。

同じく平成29年から、侵入防止柵として、集落柵に対し、県からの2分の1の補助に加え4分の1の市の上乗せ補助が出るようになった。また、それまで補助されていなかった狩猟期間中の捕獲に対しても、1頭6千円の補助金が出るようになった。

狩猟期間以外の駆除の補助金についても、イノシシ、シカは成獣1万6千円、幼獣1万円の補助金が出ている。

また、令和3年度から市の新規事業として、瀬戸内市鳥獣被害に強い集落づくり支援事業補助金があった。令和3年度の実績として、2地区が利用している。この補助金は、自治会や集落柵の整備地区において、集落環境整備や集落柵の維持管理などの鳥獣被害対策費用の一部を助成する。

これからどうする

9月末までの捕獲実績が、前年度比、牛窓地域176%、邑久地域249%、長船地域144%と大幅に増加している。

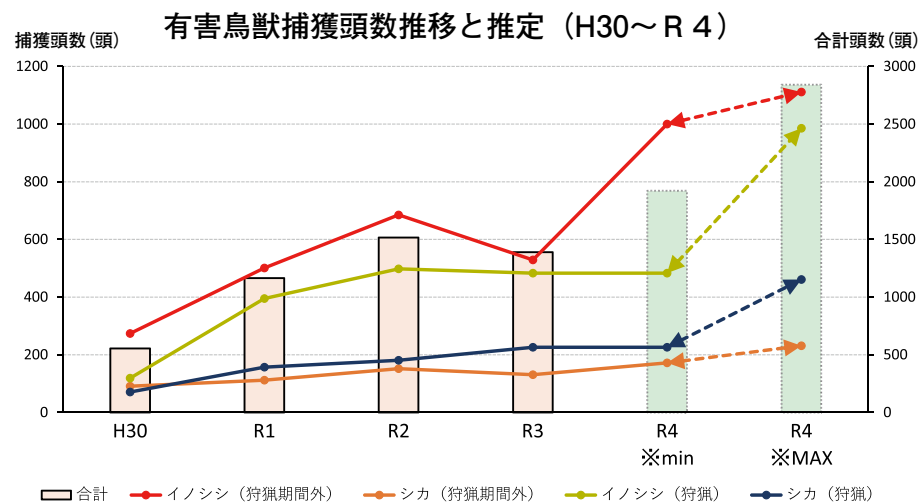
全体で前年度比204%となり、令和4年度の捕獲補助金を、約1千400万円増額した。

議会は

現在、被害を減らすための駆除については、猟友会、有害鳥獣駆除班と市が共同で取り組み、努力している。

被害相談の現地調査の際には、有識者の意見も聞いて現状の分析と対策の方向性を考えるべきだと強く申し入れている。

これまで以上に、環境整備、侵入防止、捕獲の総合的な対策が重要である。これからの、有害鳥獣による被害を少なくし、市民が安全で安心して暮らせるよう、より一層、市に対し提案するとともに、一緒に対策を考えていく。



有害鳥獣捕獲頭数推移と推定 (9月末までの捕獲実績による) (単位: 頭数)

		H30	R 1	R 2	R 3	R 4 ※ min	R 4 ※ MAX
狩猟期間外 3/16 ~ 11/14	イノシシ (狩猟期間外)	274	501	685	529	1000	1111
	シカ (狩猟期間外)	91	112	152	131	172	231
狩猟 11/15 ~ 3/15	イノシシ (狩猟)	119	395	498	483	483	985
	シカ (狩猟)	71	157	181	226	226	461
錦海塩田跡地駆除					20	41	52
合計		555	1165	1516	1389	1922	2841

※min (想定される最小の数値): [R4.3.16~R4.9.30 (実績)] + [R3.10.1~R4.3.15 (昨年度実績)]
 ※MAX (想定される最大の数値): [R4.3.16~R4.9.30 (実績)] + [R3.10.1~R4.3.15 (昨年度実績)] × 204% (伸び率)

目指せ待機児童ゼロ



現状

子育て世代の多くは、保育の確保に悩まされている。本市も例外ではない。

令和4年は0歳児定員が全市で48人に対して、申し込み数は102人だった。

令和4年度の対策

市は、待機児童ゼロに向け、今城保育園・幼稚園のこども園化、邑久地区に民間認定こども園の誘致、長船地区に小規模保育事業所の誘致に取り組んだ。



今城こども園

今城こども園

令和元年8月、今城幼稚園と今城保育園を統合し、今城こども園となることが決定した。

両園舎共に、良いところは残しながら全面改修することになった。令和4年度は、園児の安全を確保し、保育しながらの工事となったが、4月からは、新しい環境で保育が始まる。

邑久ルンビニこども園

令和2年、年度途中の入園や希望の施設への入園ができない状況であったため、市は邑久小学校区に民間こども園の誘致を決め、4月から開園する。



4月開園の邑久ルンビニこども園

議会は

園児数が減少している幼稚園と、待機児童が発生している保育園を併せた、瀬戸内市の全体計画の一日も早い見直しを求めている。

今後の待機児童は大丈夫か

令和5年度からは、今城こども園の0歳児定員が、3人から9人に、邑久ルンビニこども園が、0歳児6人、1歳児12人、2歳児12人の定員、わくわく保育園が、0歳児から2歳児で定員19人となり、待機児童はなくなる。



4月開園のわくわく保育園 (長船町福岡地域)

わくわく保育園

今年度長船地域で0・1歳児の入園希望者が急増し、待機児童が発生している。そのため、長船地域に民間の小規模保育事業所が、4月に開園する。

どこまで進んだJR駅前整備

今までの経緯

平成28年度に「JR駅前等整備計画」が策定され、平成29年度から測量および設計、令和2年度から工事が始まった。市内のJR3駅前の整備が目に見える形になってきた。

現状

大富駅

公衆トイレは完成し、駐輪場・駅前広場の舗装等の工事中で、3月中に完成予定。



大富駅

長船駅

公衆トイレと駐輪場はすでに完成している。

駅前広場の改良工事、舗装工事、シェルター（雨除け用の屋根）工事は、令和5年2月完成予定だったが、4月以降になる見込み。



長船駅

邑久駅

新設駐車場が完成し、供用開始している。

今後、南側駐輪場、公衆トイレの整備が今年の夏に完了予定。その後、駅前広場の工事、最後に商工会移転後の跡地に、北側駐輪場を整備する。

邑久駅は、令和6年度中の完成予定となる。合併特例債の期限である令和6年度末には、間に合うと説明があった。



邑久駅 南駐車場



邑久駅 東駐車場

商工会の移転先

邑久駅前の商工会の移転先について、市は邑久高校前の職員駐車場を移転候補地として提示したが、議会議事から

「その土地は、公民館の土日の駐車場として必要な場所ではないか」と、厳しい声を投げかけていた。

商工会は、瀬戸内市役所本庁舎西側にある土地を移転先として、取得を進めている。

商工会の新しい形

商工会の移転については二転三転しているが、具体的な計画について市から、

「商工会が移転するにあたり市が商工会と連携して進めてきた中小企業の振興対策について、さらに拡充できるように検討を進めてきた。商工会が単独で事務所を建設するのではなく、市が地方創生拠点整備交付金を活用して新たな拠点を整備し、その施設の中に商工会事務所が入る形を想定している。」と説明があった。

議会は

「当初、土地と建物補償でお金を支払い、商工会が建物を建てるというのが前提条件だったのでないか」とたどした。

市は、「当初はその計画だったが、地方創生拠点整備交付金を活用し、市が建設する建物の中に商工会も入ってもらう。財政面でも少ない費用で効果を生むよう方向転換した」と説明があった。

今後の駅前整備

議会は

JR駅前整備について、短期計画の目的が果たしたところで、中期計画についてたどしたところ、市から「今後確実に進めていくには、課題整理と、計画を再度練り直し、市民の意見も聞きながら見直す必要がある。」との説明があった。

議会は、長船駅のバリアフリー化に対する市民の切なる願いの早期実現を求めた。



バリアフリー化が望まれる長船駅

まめ知識

まっすぐ、しあわせ。



このマークをご存じですか？ 瀬戸内市のロゴマークです。海、山、太陽、人を象徴するカラフルな配色で、瀬戸内市を表現しています。

今回整備されたJR3駅には、実はこのロゴマークが散りばめられています。右の写真は、もうすでにJRの駅に設置されているものです。邑久駅は、整備がこれからなので、こういった形で再現されるか楽しみにしています。みなさんも、駅に行かれた時に、ぜひこのロゴマークを見つけてみてください。

山と人



太陽



文化振興について

文化財団とは

文化財団は、質の高い文化芸術を提供し、市民の文化経験の向上が図られ、未来を担う子どもたちが地方に住んでいても、一流の文化体験ができることを目指している。

地域の文化資源や文化財の保護活用、伝統や歴史、地域の文化財を軸とした関係人口及び、経済の創出を目的としている。

文化財団設立の経緯

議会は、令和元年度から3年間で計画した「アートから始める歴史と文化を生かしたまちづくり事業」のメニューの一つである文化振興財団設立案に対し、計画と財源が不明確という理由で設立を認めなかった経緯がある。

令和4年2月定例会で、新規に文化財団を設立するのではなく、公益財団法人寒風陶芸の里に事業を追加し、文化財の保存活用、人材育成を主要事業とした文化財団設立のための710万円の予算を可決した。



文化財団の設立

令和4年5月公益財団法人寒風陶芸の里理事会において、瀬戸内市が目指す歴史文化の保存活用に対する事業拡大が認められ、名称を「公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団」とすることに決定した。



議会から、財団名が変更になることにより、慣れ親しんできた名前を惜しむ声が出た。

財団の名前は変わるが、会館の名前は今まで通り、寒風陶芸会館という名称のもとに事業を実施すると聞いて安堵している。

今後、文化財団が本格始動をしていく中で、当初の目的が計画通りに進むよう、チェックしていく。

文化財保存活用地域計画とは

令和4年12月、「瀬戸内市文化財保存活用地域計画」が文化庁から認可を受けた。平成30年の文化財保護法改正によって制度化された、市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画である。

計画のメリット

市町村が目指す将来的ビジョンに沿って取り組むことで、国からの補助金も活用しながら継続性・一貫性のある文化財等の保存活用が可能となる。



保存活用も大切だが、まず瀬戸内市にある文化財を市民に広く知ってもらうことを求めた。



寒風古窯跡群を発見した
ときなほくすい
時実黙水



寒風陶芸会館

